

いたもので、木簡を二次的に井戸枠に転用したと考えられる。

## 8 木簡の积文・内容

### (1) 「之身□候

事と申とて候（花押）

(297)×(130)×4 061

わずかに湾曲する薄い板材の内側に墨書きがある。材の上半から中央にかけて墨書きがある。材の上端と右側面は削られた痕跡を残すが、左側面と下端は破損している。断片なので文意は明確でないが、二行目の文末に花押と思しき墨痕があり、書状様の木簡かと考えられる。一行目の三文字目は「た」の可能性もあり、そうならば「□候」は「たり」となる。

### 9 関係文献

青森県市浦村教育委員会『十三湊遺跡—第一八・七六次発掘調査概報 遺構・遺物図版編』市浦村埋蔵文化財調査報告書第一〇集(1990年)

(1979) 榊原滋高、8 綾村 宏(奈良国立文化財研究所)

# 木簡研究第一九号

町田 章

卷頭言  
一九九六年出土の木簡

概要 平城宮跡 平城京跡 藤原宮跡 恒仁宮跡 長岡京跡 平安京跡  
左京八条三坊十四町(八条院町) 末窓跡群 大坂城跡 広島藩大坂藏屋  
敷跡 樺葉野田西遺跡 三条九ノ坪遺跡 大物遺跡 深田遺跡 安倉南  
遺跡 明石城跡 坪櫻 明石城 武家屋敷跡 桃狹遺跡 印場城跡 角江遺  
跡 御殿・二之宮遺跡 川合遺跡 志保田地区 北条小町邸跡 伊興遺跡  
丸の内三丁目遺跡 汐留遺跡 江戸城外堀跡牛込御門外橋詰 尾張藩上  
屋敷跡遺跡 青山学院構内遺跡 岡部条里遺跡 上山神社遺跡 湯ノ部  
遺跡 觀音寺城下町遺跡 小谷城跡 高山城三之丸堀跡 松本城三の丸  
跡土居尻 松本城下町跡伊勢町 前橋城遺跡 大猿田遺跡 根岸遺跡  
泉平館跡 山王遺跡 舟場遺跡 無量光院跡 志羅山遺跡 後田遺跡  
龜ヶ崎城跡 宮ノ下遺跡 上高田遺跡 大橋遺跡 払田柵跡 長田南遺  
跡 金石本町遺跡 田尻遺跡 大坪遺跡 舞臺遺跡 馬寄遺跡 下町・  
坊城遺跡 新発田城跡 目久美遺跡 天神遺跡 三田谷I遺跡 鴻の巣  
東遺跡 吉川元春館跡 長登銅山跡 飛田坂本遺跡 博多遺跡群 香椎  
B遺跡 鞠智城跡 前田遺跡 那覇港周辺遺跡群旧東村地区  
一九七七年以前出土の木簡(一九)  
美作国府跡

韓国出土の木簡について

史料紹介 琉球の木簡二題

書評 山里純一著『沖縄の魔除けとまじないーフーフダ(符札)  
の研究ー』

書評 東野治之著『長屋王家木簡の研究』

頒価 五五〇〇円 送料六〇〇円

李 李  
山里 純一  
高島 英之  
鶴見 泰寿